

# ③就労支援部会

## 活動報告・活動計画

### 1 報告事項

平成 28 年度は、就労支援部会研修準備会を 1 回、就労支援部会を 1 回実施。

#### (1) 就労支援部会準備会

①日時：平成 28 年 7 月 27 日（水）16:00～18:00

②内容：ア 就労支援事業所等の職員のスキル向上について検討  
イ 管理者向け、サビ管向けなどの研修を圏域と連携して検討する。

#### (2) 平成 28 年度の就労支援部会

①日時：平成 28 年 12 月 7 日（水）14:00～16:00

②内容：ア 前年度の部会及びワーキングの状況報告  
イ 各圏域の取組状況等の報告

##### ■北部圏域

- ・北部福祉事務所のHPに就労系事業所の商品紹介ページを掲載し、周知。
- ・就労系サービス管理責任者向けにスキルアップ研修を行った。
- ・HPなどの掲載で実際に東村の幼稚園でパンの納品があった。

##### ■中部圏域

- ・各市町村に就労のテーブル（話し合いの場）を設置することを目標に取り組んでいる。
- ・人材育成や研修企画、販路拡大など3つのコア会議を設置。
- ・諸問題の大元として、サビ管の質に課題があるという結論になったので、質の底上げのためのテーブル作り、研修の実施という方向で、取り組んでいる。
- ・直B問題は引きこもりの障害者の時に出てくる。今はすぐに直Bが利用できず、必ず就労移行支援を通さないといけない。継続して取組。

##### ■南部圏域

- ・色々と研修会を実施している。
- ・圏域部会でやる部分、市町村とのテーブルでやる部分の整理がまだできていない状況。
- ・久米島の取組では、これまで廃棄していたイモを事業所で集めてペースト状にして販売につなげている取組があった（こういった取組は離島や小さい村には参考になる）。

##### ■宮古圏域

- ・事業所の職員交流の為、お互いの事業所でインターンシップを実施。
- ・少数だが企業との情報交換会なども行っている。
- ・障害者雇用支援月間に新聞投稿でリレーエッセイを行った。

## ■八重山圏域

- ・優先発注の周知を八重山福祉事務所HPに掲載している。
- ・八重山の優先発注のパンフレットは北部のものを参考にした。
- ・支援者のスキルアップのため、発達障害者支援センター職員に勉強会の講師をしていただいた。また、事業所の実践事例発表など、あるまねとむりぶしの2事業所から発表してもらった。
- ・企業との交流として、産業まつりに事業所合同でブースを出してみようという話になっている。

## ウ その他団体から

### ■障害者職業センターの取組

- ・精神障害、高次脳機能障害、発達障害について、年ごとにローテーションしてスキルアップ研修を実施している。
- ・基礎研修については、圏域ごとに人数を把握して実施している。合理的配慮、発達障害者のアセスメント、ナビゲーションブックの作成など。

### ■サンエーの取組

- ・(サンエーで雇用している障害者の方は) パートの方が多い。勤務時間は6～7時間。
  - ・パラリンピックの強化選手の方もいるので、本人の希望があれば土日を休ませるなど、できるだけ協力はしている。
- ⇒ 障害者の状況や要望に応じて柔軟に対応することは、合理的配慮につながる。

### ■中小企業同友会の取組

- ・毎年同友会で障害者雇用フォーラムを開いており、今回で11回目。
- ・今年は岡山県総社市の片岡市長 10月8日に浦添で講演会、前日に八重山で講演していただいた。浦添講演については宮古にも中継した。
- ・次年度は八重山で開催し、その様子を那覇に逆中継して離島に配慮したい。

### ■セルフセンターの取組

- ・ナイスハートバザールを毎年開催。国庫を活用して始めて今年で32回目。
- ・売上は残念ながら下火。
- ・今年度、宮古で初めて開催する。八重山か宮古でと募集したが、宮古の事業所の希望が多かった。逆に八重山は自分たちで販売する機会があるということで前向きな理由で希望が少なかった。
- ・宮古での開催で販路拡大につながればと考えている。

### ■読谷村（事業所J I J I）の取組

- ・読谷では『ゆんたく会』という名称で行政、事業所、相談員の交流会を開いている。たこ焼きパーティなどで年4回程度。
- ・ゆんたく会のつながりで腹を割って話せるようになった。
- ・精神担当がメイン。広がりが必要だと感じている。
- ・3～4年前に嘉手納町にいる時は、事業所が少なかったもので、同時期に開所する他事業所と競合せずにみんなで協力していこうという主旨で、児童から就労事業所まで、『嘉手納事業所連絡会』として、交流会、勉強会、講演会などを実施した。
- ・事業所と共同でフリーマーケットと共催してイベントを開催した。

- ・嘉手納町内の連絡会と社協も一緒に行った。事業所が音頭を取ると競合するため、社協に取りまとめを依頼し、利害関係などがぶつからないように気を遣って実施した。

⇒ 読谷村の取組を参考に、現在、横のつながりがない市町村などへの仕掛けに使ってほしい。

#### エ 優先調達推進の実績

- ・別添資料を元に説明。
- ・『食料品・飲料』については、件数の割には金額が少ない。児相の一時保護の際のおやつのパンなどの実績なので少額である。
- ・『清掃・施設管理』については、県庁周辺や県警の周辺などの清掃が主だったもの。
- ・セルフと随契できるように進めていたところだが、他部局の随契が少し問題になったので少し難航している。時間がかかるかもしれないが丁寧に進めていきたい。
- ・大きな仕事でもセルフに依頼し、セルフ所属の事業所に分割発注する方法なども検討している。

## 2 協議事項

### (1) 平成 29 年度の就労支援部会の活動計画（案）について

#### ①部会等の開催について

- ・部会は、年 1 回以上の開催とする。
- ・必要な時に県全体のワーキングを開催し、ワーキングの報告等を受けて必要な指示、各圏域からの課題検討、その他の全体調整を行う。
- ・一般就労ワーキングと福祉的就労ワーキングについては、共通する課題も多いことから、当面は合わせて検討するものとし、相談支援・人材育成部会との連携した研修会等を検討する。

#### ②協議事項について

##### 就労支援部会で取り扱うテーマ

- ・就労系サビ管のスキルアップ研修、支援者向け研修等の検討について
- ・圏域単位での一般企業、特支、事業者向けの障害者雇用研修について
- ・優先調達の推進について
- ・販路の確保、拡大について
- ・その他、圏域からの提案事項について

障害者就労施設等からの物品等の調達実績 《平成27年度》  
(県及び市町村等)

	品目	受注件数 (件)	金額 (円)
物品	事務用品、書籍	0	0
	食料品・飲料	114	4,465,348
	小物雑貨	38	2,460,190
	その他の物品	42	8,405,245
	物品計	194	15,330,783
役務	印刷	1	341,528
	クリーニング	2	390,522
	清掃・施設管理	104	145,907,774
	情報処理、テープ起こし	1	5,994
	飲食店等の運営	0	0
	その他の役務	16	47,503,598
	役務計	124	194,149,416
合計 (物品+役務)		318	209,480,199
	うち、随意契約	190	144,668,244